

日中対照言語学会会報 (No.69)

2025 年 12 月 25 日 (木) 発行 会報担当：彭飛 竹島毅 古賀悠太郎

目次

1. 2025 年度第 2 回拡大理事会議事録
2. 会員総会報告
3. 第 53 回全国大会 (2025 年度冬季大会) 報告
4. 学術研究会報告 (2025 年 6 月以降)

※ 事務局より

1. 2025 年度第 2 回拡大理事会議事録

日 時：2025 年 12 月 14 日 (日) 12:00~13:15

場 所：京都外国語大学 4 号館 452 教室・オンライン (Zoom)

出席者：28 名 (敬称略)

(会場) 王学群、岡原丞良、加藤晴子、北村よう、下地早智子、建石始、椿正美、苗苒、福田翔、藤原優美、彭飛、丸尾誠、楊彩虹、楊蕾、魯曉琨

(オンライン) 相原里美、于飛、岡本俊裕、勝川裕子、古賀悠太郎、小路口ゆみ、曹泰和、丁雷、張黎、豊嶋裕子、新田小雨子、畢文涛、森山美紀子

選挙管理委員会から、以下の報告が行われた (楊蕾委員が竹島毅委員長の代理で報告)。

- (1) 本学会では 2 年に一度、理事選挙が行われる。今年度はその選挙の時期にあたり、2025 年 10 月 25 日~11 月 5 日の期間に行われた。投票は Microsoft Forms を通じて行われ、投票権者は一人最大で 10 票まで投じることができる。投票権者は本学会の会員資格を有する者、被選挙権者は前年度まで連続 5 年本学会に在籍している者である。
- (2) 今回は 329 名の投票権者に対して投票を行ったのは 61 名、投票率は 19%、有効投票数は 473 票となった。なお、前回の投票率が 31%だったことなどを踏まえると、今回の投票率の低さは今後の課題であると言える。
- (3) 選挙結果は次の表の通りである。

2026年度日中対照言語学会 理事選挙結果

2025年11月12日
選挙管理委員会

投票期間：2025年10月25日~2025年11月5日

投票方法：オンライン

被選挙者数：108

投票権者数：329 (全会員)

投票者数：61 (投票率19%)

有効投票数：473 (※1人10票まで投票可)

順位	氏名	得票数	19	曹 泰和	9	41	望月 雄介	2
1	彭 飛	35	20	岡原 嗣春	8	42	安 明姫	2
2	丸尾 誠	33	21	小路口 ゆみ	8	43	朱 薇娜	2
3	加藤 晴子	29	22	鈴木 慶夏	8	44	肖 海娜	2
4	下地 早智子	28	23	楊 彩虹	8	45	高橋 雄一	2
5	勝川 裕子	21	24	上地 宏一	7	46	馮 一峰	2
6	王 学群	20	25	豊嶋 裕子	7	47	綾部 武彦	1
7	竹島 毅	20	26	森山 美紀子	6	48	犬塚 優司	1
8	張 黎	20	27	新田 小雨子	5	49	岡本 俊裕	1
9	安本 真弓	20	28	吉野 孝介	5	50	賈 黎黎	1
10	玉岡 賀津雄	18	29	張 婧禕	4	51	金 佳	1
11	姚 艶玲	13	30	安藤 好恵	4	52	齋藤 貴志	1
12	趙 海城	13	31	王 安	4	53	白銀 志栄	1
13	苗 苒	12	32	太田 匡亮	4	54	操 智	1
14	建石 始	11	33	張 恒悦	4	55	单 艾婷	1
15	楊 蕾	11	34	畢 文涛	4	56	陶 琳	1
16	古賀 悠太郎	10	35	魯 曉琨	4	57	永田 良太	1
17	平山 邦彦	10	36	石井 友美	3	58	朴 景淑	1
18	福田 翔	10	37	栗原 千里	3			
			38	謝 平	3			
			39	朱 繼征	3			
			40	張 明	3			

(4) (彭飛会長の発言) 上記選挙結果に基づいて、2026 年 1 月を目途に、新会長、そして新しい理事会メンバーが決定していくことになる。

各委員会、及び中国分会からの報告が行われた。主な内容は以下の通りである。

①特集号編集委員会（報告者：王学群委員長）

(1) 前回の特集号『日本語と中国語のやりもらい表現』（2024 年 3 月出版）について、「電子版も作成したい」との白帝社からの要望が紹介され、その場で承認された。

(2) 次の特集号は、「日本語と中国語の漢語（語彙）」をテーマに投稿論文の募集を行う。締め切りは 2026 年 3 月である。

②大会運営委員会（報告者：岡原丞良委員長）

(1) もともと対面形式（のみ）での予定であったが、諸般の事情（基調講演で中国の先生をお招きするなど）により、急遽、対面・オンラインのハイブリット形式に変更となった。この点でご協力、ご理解いただいた関係者の皆様に感謝したい。

(2) 大会プログラムについても、基調講演の時間が従来の午後の部（昼休憩直後）から午前の部に移動するなど、変更点があった。

(3) 次回大会の会場として東洋大学が立候補してくださっている。時期については、例年通りなら 2026 年 5 月 10 日（5 月の第二日曜日）が有力、5 月 17 日も考えられる。（※岡原委員長より追加のご連絡があり、会員総会終了後、東洋大学と協議がなされ、次回大会は 2026 年 5 月 17 日に確定した。）

(4) 基調講演の先生に対する謝礼金は 3 万円、対面形式の場合は往復の交通費、宿泊費なども含めて 10～15 万円の予算が必要と考えているなどの金額が提示された。これを受けて、学会として支出できる具体的な金額などについては、新しく発足する理事会において継続して検討されることとなった。

③事務運営委員会（報告者：曹泰和副委員長）

(1) 会員動向：最新の会員数は 348 名、ただしこの中には 3 年以上の会費未納者も含まれる。

(2) 会計：現在の通帳残高は 3,887,480 円となっている。

④中国分会（報告者：于飛委員長）

(1) 会員動向：現在、中国分会の会員数は 119 名である。

(2) 会計：現時点での会費収入は 14,100 元（人民元）である。ただし、2025 年度の会費未納者もいる。

⑤研究誌編集委員会（報告者：丸尾誠委員長）

(1) 『日中言語対照研究』第 28 号には 26 本の投稿があったが、そのうち受理されたのは 15 本であった。不受理の理由としては、形式の不備もさることながら、会費の未納によるものも多かった。

(2) 新しい理事会の発足に伴い、次期の編集委員長は森山美紀子氏に依頼している。

⑥学術研究会運営委員会（報告者：丁雷委員長）

(1) 2025 年度は、これまで 6 回の開催で 10 件の発表が行われた。

(2) 特に日中言語対照研究の分野における学術交流を進めていくという点で、学術研究会も一定の役割を果たしている。関係者の皆様に感謝したい。

(3) 課題としては、出席者が極めて少ないこともある、発表者が中国国内の研究者に偏っているの 2 点が挙げられる。

上記のほか、彭飛会長より以下の発言があった。

- (1)王学群先生を本学会の顧問に推挙したいという提案があり、その場で承認された。
- (2)本学会顧問経験者で、かつ、大学を退職された先生に司会などをご担当いただく場合、往復の交通費を支給するという提案があった。

2. 会員総会報告

日 時：2025 年 12 月 14 日（日）16：25～16：50（第 53 回全国大会閉会后）

場 所：京都外国語大学 4 号館 452 教室・オンライン（Zoom）

会員総会に先立ち、2025 年度の学会誌『日中言語対照研究』第 27 号発表論文を対象とした「日中対照言語学会 論文賞」の表彰式が行われた。受賞者と対象の論文は以下の通りである。

加藤晴子 氏「中日対訳小説に見るサセテ+授受形—その選択動機を探る—」

会員総会では、以下の点が報告された。

- (1)第 53 回大会は、対面での参加者が 57 名、オンライン（Zoom）での参加者が最大時で 20 名程度に上り、予定通りに行うことができた。
- (2)このほか、彭飛会長や各委員会から、「会員動向や会計」「次回大会の開催場所や日程」に関する報告、「本学会顧問経験者に対する交通費の支給」に関する提案などがあった。
（これらについては、理事会でも発言がなされたことなので、「1. 2025 年度第 2 回拡大理事会議事録」を参照されたい。）

3. 第 53 回全国大会（2025 年度冬季大会）報告

日中対照言語学会第 53 回全国大会は、予定通り、2025 年 12 月 14 日（日）、京都外国語大学とオンライン（Zoom）のハイブリット形式で開催された。分科会は 3 つの会場に分かれ多様な研究発表と活発な討論が行われた。

なお、対面形式での開催は第 42 回大会（2019 年 12 月 22 日、大阪産業大学梅田サテライト）以来のことである。

記

日 時：2025 年 12 月 14 日（日）9：20～16：25

会 場：京都外国語大学・オンライン（Zoom）

参加費：無料（会員、非会員共通）

プログラム

総合司会：岡原丞良（関西大学）

9：20～9：25 **開会の辞**：下地早智子副会長（神戸市外国語大学）

9：30～10：30 **【基調講演】** 京都外国語大学 4 号館 452 教室

司会：張黎（大阪産業大学）

汉语二语高级学习者作文中的话语标记系统及偏误分析

张旺熹（吉林外国语大学）

10：40～11：50 **午前の部**（分科会 A/B/C の 3 部制）

分科会 A「4 号館 451 教室」、分科会 B「4 号館 453 教室」、分科会 C「4 号館 452 教室」

【分科会 A】 全体司会：楊彩虹（北海道大学）

司会：彭飛（京都外国語大学）

1. 「個人」か「集団」か一日中語彙対照研究の一視点— 岡野優大（大阪大学・院）
2. 日中漢字同形語「切断」の意味的相違の考察—日本語の「切る」と中国語の“切”を考えて— 李琦（京都外国語大学・院）

【分科会 B】 全体司会：王芸嬭（立命館大学）

司会：下地早智子（神戸市外国語大学）

1. 日本語母語話者における言いさし表現の使用実態—日本語教育現場への示唆を中心に— 郭婷婷（関西大学大学院・院）
2. 現代中国語書き言葉コーパスに基づく “正+X+在+VP” 構文の記述研究 王棟（早稲田大学）

【分科会 C】 全体司会：藤原優美（広島市立大学）

司会：藤原優美（広島市立大学）

1. 「ある+名詞+カライウト」と「从某（个/種）+名詞+（来）説」 周雪（神戸市外国語大学／天津外国語大学・院）
2. 属性形容詞における「～そうだ」構文の成立条件—視覚情報と可能世界の対応型による分析— 王曉婷（神戸市外国語大学・院）

11：50～13：30 昼休憩 ※ 昼休憩中、12：00～13：15 に拡大理事会が行われた

13：30～16：00 **午後の部**（分科会 A/B/C の 3 部制）

【分科会 A】

司会：楊彩虹（北海道大学）

3. 命令文における方向補語“来/去”の機能—目的語との位置関係の分析を通して— 張凡（名古屋大学・院）
4. 「能 VC」「V 得 C」「能 V 得 C」の 意味的特徴について—コーパス調査に基づいて— オウ イリン（神戸市外国語大学・院）
5. 中国語の結果補語から述語の時間的属性の考察—日本語との対照的考察— 付汝青（京都外国語大学・院）

【分科会 B】

司会：丸尾 誠（名古屋大学）

3. 行為連鎖の観点から見た日中自動詞受動文の事態把握—「死なれる」と“被死”の対照を中心として— 游紹暉（法政大学・院）
4. ス克蘭プリングの認可条件について 馮一峰（京都外国語大学）
5. “是”存在文と“有”存在文の対照研究—構文役割を中心に— 時彦卿（名古屋大学・院）

【分科会 C】

司会：加藤晴子（東京外国語大学）

3. 中国語会話における“我还说”によって導入される引用の分析 劉礪岩（京都先端科学大学）
4. 共話から見る不同意談話 孫雨欣（広島大学・院）

司会：王学群（東洋大学）

5. 中国語母語話者による日本語作文における前置き表現の使用に関する一考察—日本語母語話者

との比較を通じてー

王澤華（広島大学・院）

聶雨晨（北海道大学・院）

6. 日中コロナ報道における戦争メタファーの語用的差異

16：10～16：20 日中対照言語学会 論文賞 表彰式

16：20～16：25 閉会の辞 彭飛会長（京都外国語大学）

16：25～16：50 会員総会

4. 学術研究会報告（2025年6月以降） ※詳細は当学会 HP に掲載

■日 時： 6月21日（土）17：00～18：30（オンライン）

発表者①：王梓博（大連外国語大学・院）

テーマ： 中日企業の謝罪広報における換喩認知機能に関する対照研究

発表者②：彭申奥（大連外国語大学・院）

テーマ： 中日語用論的対照観点に基づく勧誘談話についての考察ーライブコマースの勧誘を中心にー

■日 時： 7月19日（土）17：00～18：30（オンライン）

発表者①：朱美義、趙詩瑜（天津外国語大学・院）

テーマ： 生成 AI による非慣習的間接発話行為に対する理解と対応ーDeepseek-R1 を中心にした考察ー

発表者②：王蓓蕾（天津外国語大学・院）

テーマ： 日本語学習不安と母語話者接触の関連性ー接触機会の頻度・形式が中国人学習者に与える影響ー

■日 時： 9月27日（土）17：00～18：30（オンライン）

発表者①：余婷（西安外国語大学・院）

テーマ： 日本語における動詞修飾型の重複表現についてー「副詞+ADJ-V 型二字漢語動詞」構文を例としてー

発表者②：範燕雲（西安外国語大学・院）

テーマ： 日中における副詞的談話標識の主観化研究ー「真是的」「真的是」と「まったく」「もう」を例としてー

■日 時： 10月18日（土）17：00～17：50（オンライン）

発表者：王佳琪（大連外国語大学・大学院卒業生）

テーマ： 中日詩歌の修辞法に関する比較研究ー『唐詩三百首』の恋愛詩と『古今和歌集』の恋歌を中心としてー

■日 時： 11月15日（土）17：00～18：00（オンライン）

発表者①：蔣卓（北京第二外国語学院・院）

テーマ： 学習者の誤用からみる指示詞の捉え方に関する一考察

発表者②：賀往欽（北京第二外国語学院・院）

テーマ： 学習者の誤用からみる学習者の推量と断定の捉え方に関する一考察ー「だろう」の過剰使用と不使用を手掛かりにー

事務局より

- 1) 学会の入会申請は、日中対照言語学会のホームページ上で受け付けております。申請ができなかった場合は入会担当の 相原里美副委員長 (xiangyuanlimei@gmail.com)、または安本真弓事務局長 (yasumoto@cap.ocn.ne.jp) までご連絡ください。年会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっております。
- 2) 【年会費の納入願い】
年会費は、郵便振込用紙を送付しておりますので、ご納入いただきますようお願いいたします。何かご不明な点がありましたら、会計担当の曹泰和副委員長 (soutaiwa@meikai.ac.jp) にお問い合わせください。
- 3) 学会会報、大会、学術研究会開催などの通知は、ホームページに掲載するほか、メーリングリストでもご連絡しております。つきましては、**メールアドレスに変更があった場合**、必ず事務運営委員会 (xuehuijimu@hotmail.com) までご連絡ください。

また、下記の通り、住所やメールアドレスなど不明で学会よりご連絡できない方がいらっしゃいますので、ぜひ事務運営委員会 (xuehuijimu@hotmail.com) までお知らせいただきますようお願いいたします。

住所、メールアドレスなど不明の方：

印雨琪、王会欣、夏逸慧、賈伊明、何佳琪、郭楊、郭麗、何潔、許亜寧、
祁陽、金敬玲、瞿琦、權鑾、侯遠方、高沁雨、胡鴻洋、胡春艷、吳川、
吳丹、蔡嘉昱、崔筱玉、趙鵬群、沙広聡、施葉飛、徐佳、徐幸華、
申定微、石鑫宇、曾曾、束睿、蘇碩、孫之依、趙金昌、趙璇、趙丹楠、
趙武陽、趙文騰、陳曦、陳紫軒、鄭欣悦、鄭琮花、東寺祐亮、
杜暉、任霞、白叡、鮑小磊、万巨鳳、俞鳴蒙、楊偉健、叶曉峰、葉雪琚、
楊迪、李坤、劉嘉、劉芸婷、劉陽、李瑶、凌飛、廖琳、林潮瑜、呂文豪

上記の住所、メールアドレスなどが不明な方の情報をご存じの方も、お手数をおかけいたしますが、事務運営委員会 (xuehuijimu@hotmail.com) にお知らせいただけませんか。

- 4) 【中国在住会員の年会費納入及び学会誌送付】

年会費（一般会員：200 人民元、学生会員：100 人民元）は会計年度（毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日）内にご納入ください。納入方法（中国国内銀行の振込口座情報等）に関しては、すでに中国在住会員にお知らせしておりますが、ご不明な方はメールにて中国分会事務局 (rzyydzfh@163.com) にお問い合わせください。

学会誌送付については、電子版（PDF 版）での対応となります。

